

基本理念 「遊ぼう」「学ぼう」「生きよう」みんなでいこまを楽しもう

頁

具体的な事業

基本方針1 子育てを楽しめる地域づくり

1 保護者支援の場・コミュニティづくり

1 ・イクメンサロン設置事業

2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実

2 ・こども園(幼保再編)推進事業

基本方針2 21世紀を生き抜く優しくたくましい人づくり

1 21世紀を生き抜く力を身につける学びの創造

3 ・小中一貫教育・義務教育学校設置検討事業 ・生駒市教育力活性化プロジェクト
 ・ミュージアムで学ぼう！博物館類似施設活用推進事業
 ・赤ちゃんから学ぶ「先生は赤ちゃん」 ・今後の英語教育のあり方について
 ・21世紀を生き抜く力の一つ「問題発見力」の育成
 ・「他者と協働するコミュニケーション力」を養うファシリテーションを学ぶ

2 多様性を認める優しい心と、挑戦を続けるたくましい心の育成

7 ・チャレンジ！やさしくたくましいいこまっ子キャンプ

3 子どもや学校のチャレンジを応援する仕組みづくり

8 ・生駒こどもチャレンジ補助事業

4 学びを支える教職員、学校への支援

基本方針3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり

9 ・ふるさと生駒図書選定事業

2 文化・伝統・芸術を通じた、より豊かなまちの実現

10 ・生駒市茶道体験事業 ・生駒ふるさとミュージアム・図書館連携事業

3 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

4 すべての人が楽しく安心して成長できる機会の確保

基本方針 1**子育てを楽しめる地域づくり**

1 保護者支援の場・コミュニティづくり

事業名	イクメンサロン設置事業	担当課	子育て支援総合センター		
現状・課題	母親の子育ての孤立化や不安、負担感、男性の子育てへの関わり方も関係し、男性にとっても育児にどう向き合っていけばよいのかわからない現状がある。				
目的・意図	子どもとの関わり方や遊び方を学ぶことにより、父親としての自覚や育児への積極的な関わりを促し、また、父親同士の交流の輪を広げ、またワーク・ライフ・バランスを考えるきっかけづくりをめざす。				
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
「パパセミナー」 父母で参加し、別々のプログラムを受けることにより、夫婦の絆が再確認でき、また父親同士母親同士の輪を広げ、また父親にとっては、赤ちゃんの月齢に応じた関わりや遊びを学ぶことができる。	・全3回シリーズ＋同窓会を年2回開催	・全4回シリーズ＋同窓会を年2回開催	・全4回シリーズ＋同窓会を年3回開催	・全4回シリーズ＋同窓会を年3回開催	
	60千円	80千円	120千円	120千円	
教育委員会での協議結果	現状においても、園長等が園庭開放や保護者相談等を通じて、父親の育児についてファシリテーターの役割を担っているところであり、園以外での相談等については、パパセミナーでの相談などによって補完していくこととする。				

2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実

事業名	こども園(幼保再編)推進事業		担当課	こども課
現状・課題	2・3号認定こども(保育園児)の待機児童対策として保育園の新設や特定地域型保育事業所(小規模保育所、事業所内保育所)の開設に取り組み、児童数も増加している。しかし、1号認定こども(幼稚園児)については、園児数が減少し空き教室が増えてきている現状である。このことから、地域の実情に応じて、今後の本市の就学前教育・保育のあり方に関する基本方針をまとめ、計画的に事業を進める必要がある。			
目的・意図	基本方針を策定することにより、広く市民に周知できるほか、今後の児童数の減少に対応した保護者のニーズに応じた教育、保育を提供することができる。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
子ども子育て会議に諮問し、総合教育会議等で意見を求め、就学前教育・保育のあり方に関する基本方針を策定していく。 平成29年2月 総合教育会議 平成29年4月 パブリックコメント 平成29年6月 基本方針策定予定	10月 子ども子育て会議 11月 関係者ヒアリング 2月 総合教育会議での協議	4月 パブリックコメント 6月 基本方針公表		
教育委員会での協議結果	アクションプランで示しているとおおり「就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」で検討していくこととする。			

基本方針 2

21世紀を生き抜く優しくたくましい人づくり

1 21世紀を生き抜く力を身につける学びの創造

事業名	小中一貫教育・義務教育学校設置検討事業	担当課	教育指導課	
現状・課題	平成24年度から生駒北小中学校の設置に向けた取り組み、平成28年度からスタートした。平成29年度からは新校舎で本格的に進められることから、平成30年度から生駒北小中学校での取り組みをもとに、さらに全市的な対応を懇話会等を設置し、検討する。			
目的・意図	市内全域での小中一貫教育について検討する。 施設一体型、連携型等の課題や効果を検証する。 義務教育学校への移行、六三制から四三二制への移行の意義等について検討する。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	生駒北小中学校小中一貫教育開始	生駒北小中学校の新校舎移転	(仮称)確かな学力検討委員会の設置 100千円	(仮称)確かな学力検討委員会からの報告 100千円
教育委員会での協議結果	アクションプランで示しているとおり、生駒北小中学校での取組をもとに、H30年度から検討を開始する。			

事業名	【新規】生駒市教育力活性化プロジェクト	担当課	教育指導課	
現状・課題	生駒市の教育内容について、専門的に研究する施設、組織がない。教育内容の向上のために充実、強化が求められる。また、教育課程の編成は、各学校長に委ねられているが、年度末に各校で学校評価を行い、教育課程の手直しが必要と考えた時に、他校の教育課程や学習指導計画、学習指導案を参考にできない。			
目的・意図	教職員の指導、研修体制を充実し、教員が本来の学習体制に向き合える陣容を整備する。 教職員の資料を蓄積して体系だてて活用できる仕組みを構築する。 各校が編成する教育課程や学習指導計画、学習指導案をデータとして蓄積し、各校から閲覧可能とすることで、生駒市全体の教育の底上げを図る。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
教育指導課員の増員 教育支援施設の改修 市内小中学校の教職員が、各教科、領域ごとに指導力を高めるための研修会を実施 各校の教育課程、学習指導計画、学習指導案等データベース化	教育指導課の職員増 小学校中心に相談体制の強化(校長OB1名増)	<ul style="list-style-type: none"> 教育指導課の指導主事の1名増(ICT等教育内容の研究)人件費6,000千円 ALTコーディネーターの配置 人件費3,000千円 教科等研究会による教科研究補助の増額(小24部会、中25部会) 5千円×49=245千円 サイボウズのファイルフォルダの活用 	⇒	⇒
		9,245千円	9,245千円	9,245千円
教育委員会での協議結果	センターの施設整備を伴わない人的・制度的充実などを図ることで予算要求することとし、教育課程のデータ蓄積については、現行のグループウェアを活用していくこととする。			

事業名	ミュージアムで学ぼう！博物館類似施設活用推進事業	担当課	教育指導課		
現状・課題	平成26年度から「いこまルーツプロジェクト」を施策化し、全小学3年生がふるさとミュージアムの見学を行っている。市内にはその他にも多くの博物館類似施設があり、利用している学校がある。				
目的・意図	自分が住む生駒市の魅力を再発見し、これから続くライフワークの様々な場面で生駒の魅力を発信できる児童生徒を育成する。				
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
平成26年度から生駒ルーツプロジェクトを実施 小学3、4年生を対象	生駒ルーツプロジェクトバス代等 1,452,924円	⇒	⇒	⇒	
	1,453千円	1,453千円	1,453千円	1,453千円	
教育委員会での協議結果	現行の「いこまルーツプロジェクト」や公共施設見学などを継続しつつ、見学の活用方法については引き続き検討を行うように周知していく。				

事業名	赤ちゃんから学ぶ「先生は赤ちゃん」	担当課	教育指導課		
現状・課題	中学2年生の道徳の「命の力」「命の奇跡」の学習や中学3年生の家庭科「私たちの成長と家族・地域」の触れ合い体験の学習で、中学校と近くの幼稚園、保育園が交流活動を行っている。生徒たちは園児と交流する中で、いたわりの気持ちを持ったり、幼い子どもとの関わり方を学んだりしている。				
目的・意図	赤ちゃん先生のプログラムを通して、生徒一人ひとりが命の偉大さに気づき、自己肯定感、いじめや自殺予防への意識を高め、生まれてきたことの奇跡、自分自身の命の偉大さを学ぶことができる。				
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
中学3年生 家庭科 単元名「私たちの成長と家族・地域」のふれあい体験として、各中学校で年に2回実施した場合の試算 ¥165,000×2回×1校(生駒中) ¥150,000×2回×4校(緑ヶ丘中、上中、光明中、大瀬中) ¥100,000×2回×2校(生駒南中、鹿ノ台中) ¥70,000×2回×1校(生駒北中) 計 ¥2,070,000					
教育委員会での協議結果	現在実施している中学生の幼稚園、保育園訪問において、乳児(0歳児、1歳児)は事故などのリスクを勘案し、対象外としている現状や、既存事業の赤ちゃんの人形を使った模擬体験で十分目的は達成されていることを踏まえ、事業実施は今後の検討課題とする。				

事業名	【新規】今後の英語教育のあり方について	担当課	教育指導課	
現状・課題	現在、小学校の英語活動は、小学校1年生から4年生は各小学校で指導事例などを参考にしながら取り組み、5、6年生は文科省の年間指導計画に沿って指導を進めている。			
目的・意図	「英語教育推進委員会」を立ち上げ、各校の取組を把握し、改善点の提案を行うことにより、義務教育9年間の英語活動、英語教育で系統的な指導が可能になる。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<ul style="list-style-type: none"> ALTのコーディネーターを配置(再掲) 「英語教育推進委員会」の設置(ALT、小学校英語教員、元校長、英語教育専門家など5名) 小学1、2年生用の副読本の作成 		<ul style="list-style-type: none"> ALTのコーディネーターを配置 人件費3,000,000円(再掲) 「英語教育推進委員会」の設置 義務教育9年間の英語活動、英語教育の指導計画の作成 小学1、2年生用の副読本の作成着手 5,000円×5名×12ヶ月＝300,000円 	⇒	⇒
		3,300千円	5,586千円	4,243千円
教育委員会での協議結果	提案どおりALT同士の情報共有、意見交換を可能な環境を整えるとともに、義務教育9年間の系統的な英語教育の指導が可能な環境を整えるため、予算要求していく。			

事業名	21世紀を生き抜く力の一つ「問題発見力」の育成	担当課	教育指導課	
現状・課題	国語、社会や総合的な学習の時間に討論会やディベートを行ってきた。今後アクティブ・ラーニングの視点に立った指導が必要である。			
目的・意図	日常の「なぜ?」「どうして?」を発見する力の育成。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
各校への啓発 公開授業の推進	各校への啓発 公開授業の推進	⇒	⇒	⇒
教育委員会での協議結果	現在も国語や社会、総合的な学習の中において実施しているところであり、今後も継続的に実施していくものとする。			

事業名	「他者と協働するコミュニケーション力」を養うファシリテーションを学ぶ		担当課	教育指導課
現状・課題	国語、学級活動、総合的な学習などで話し合いの時間を設定しているが、なかなか意見が出てこなかったり、誰かの意見に引っ張られたりする現状がある。			
目的・意図	議論が活発化するルールを学び、自分の意見を「伝える力」、「違う意見」を「聞く力」、そして様々な意見を「まとめる力」を養う。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
各校への啓発 公開授業の推進	各校への啓発 公開授業の推進	⇒	⇒	⇒
教育委員会での協議結果	現在も国語や社会、総合的な学習の中において実施しているところであり、今後も継続的に実施していくものとする。ただし、ファシリテーションには専門的な知識や技術も必要となることから、さらなる充実を図ろうとするには、教職員への研修等が必要となり、時間を要する。			

2 多様性を認める優しい心と、挑戦を続けるたくましい心の育成

事業名	【新規】チャレンジ！やさしくたくましいいこまっ子キャンプ			担当課	教育指導課
現状・課題	現在各小学校で5年生児童が1泊2日の野外活動を実施している。野外活動では、カレー作りやオリエンテーションなどの班活動を通して、児童の集団意識を高め、他者を思いやる気持ちの育成を目的とした内容となっている。活動内容については、山麓公園から示された既存の内容の中から選択し、日程を立てている。 また、防災教育については各学校で様々な取組を進めているが、避難訓練しか行っていない学校も多い。				
目的・意図	現在日本各地で自然災害が発生している。1泊2日の防災キャンプを通して、児童の防災意識を高め、命を守るのことの大切さを再認識し、災害発生時に自分の命を守る行動を身につける。				
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
いこまっ子キャンプ補助金1,550,000円(29年度から自然体験学習推進補助金を名称変更し、いこまっ子キャンプ補助金とする。)	自然体験学習推進補助金 1,507,750円	いこまっ子キャンプ補助金 1,550,000円	⇒	⇒	
	1,508千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	
教育委員会での協議結果	現在、野外活動を実施している指定管理者との協議の上、防災教育の一環として学校に紹介することとする。実施の判断は学校の自主性に委ねることとする。				

3 子どもや学校のチャレンジを応援する仕組みづくり

事業名	【新規】生駒子どもチャレンジ補助事業	担当課	教育指導課	
現状・課題	各校で読書賞や科学賞に応募し、意欲を示しているが、市教委をあげての取り組みには至っていない。			
目的・意図	この活動を通して、児童生徒の創造力を培い、達成感を味わわせ、自己肯定感を高める。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
平成29年度小中各1校で補助事業を実施。 平成30年度に補助事業の検証を行う。 平成30年度以降小学校2校、中学校1校で継続的に補助事業を実施予定。		生駒子どもチャレンジ補助事業 小中学校 各1校 200千円×2校	補助事業の検証 生駒子どもチャレンジ補助事業 小中各2校 200千円×4校	⇒
		400千円	800千円	800千円
教育委員会での協議結果	次年度から補助事業を実施するため、予算要求していく。			

基本方針3

すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり

事業名	【新規】ふるさと生駒図書選定事業	担当課	図書館	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 郷土・行政資料は広く全館で約8,000冊を収集しており、各館で郷土資料コーナーを設置し、市民の利用に供している。 郷土である生駒についてのレファレンス(資料の検索・提供、調査回答)に応じている。 生涯学習課作成の「生駒市デジタルミュージアム」では、本市の文化財等をデジタルコンテンツ化している。 市民が、郷土の歴史や文化財等を調べ、学ぶ際に生じるさまざまな学習ニーズに応じて、さらに便利な図書館サービスが期待される。 			
目的・意図	<ul style="list-style-type: none"> 郷土を学ぶための資料によりアクセスしやすくすることにより、市民が郷土を知る機会の提供を図り、郷土を愛する活動の一助とする。また、学校教育、生涯学習により活用しやすくするとともに、連携を進める。 			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<ul style="list-style-type: none"> 生駒について学ぶ際に役立つ(仮)「ふるさと生駒図書」を選定し、図書館の郷土資料コーナーの中で利用に供する。 (仮)「ふるさと生駒図書」をリスト化して希望者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、参考として活用できるように学校等に配布する。 (仮)「ふるさと生駒図書」を図書館ホームページで公開し、検索や予約などがより容易に利用できるようにする。 デジタルミュージアム、ふるさとミュージアムと双方向にリンクを張る。 リスト内容は適宜、追加修正する。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮)「ふるさと生駒図書」の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館HPでの公開・利用に供するための図書館システムの改修 		
		250千円		
教育委員会での協議結果	次年度実施に向け、予算要求していく。			

2 文化・伝統・芸術を通じた、より豊かなまちの実現

事業名	【新規】生駒市茶道体験事業	担当課	教育指導課・生涯学習課		
現状・課題	お点前体験や茶釜・茶道に関する出前授業などを、いくつかの小中学校で実施している。また、茶道部は4つの中学校にある。児童生徒、市民に茶釜・茶道に触れることができる機会を提供しているが、全市的な取り組みとしては広がっていないのが現状である。				
目的・意図	生駒市が全国に誇る「茶釜」だが、茶道人口は減少傾向にあり、日常的に茶道を楽しむ人も減少していると聞き及んでいる。いわゆる茶道の敷居が高いことも原因と考えられ、茶釜を使ったことがない人も多い。この現状に鑑み、子どもが気軽に親しめるよう生駒市独自で簡単にお点前体験を行い、学校でも家庭でも日常にお茶を点てられるよう茶道を普及させたい。抹茶はヘルシーで、外国人にも人気がある。子ども達が大人になれば、世界に広めてくれる。それが郷土愛を醸成し、より豊かなまちの実現にもつながる。 また、この体験を通して、お点前に興味を持ち、家庭でも気軽にお点前を行う児童生徒の育成を目指す。				
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・生駒市茶道協会の協力を得て、茶道を出前授業のメニュー化して、小中学校に紹介し、総合的な学習の時間に授業化する。 ・生駒市茶道協会の協力を得て、生駒市民茶道検定についての実施の可否について検討する。 ・生駒ふるさとミュージアムのホームページで実施している「いこま検定」の出題項目に茶釜や茶道に関するコーナーを設け、これに関する出題を増やし、生駒の歴史、文化の検定として、拡充していく、茶釜や茶道の普及啓発を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校創造推進事業で実施 小学校4校(北小、東小、台小、南二小) 中学校1校(北中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに全小学校一律での茶道体験事業の実施(出前授業講師謝礼等) 	⇒	⇒	
		240千円	240千円	240千円	
教育委員会での協議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道を出前授業を5つの小中学校で実施している。すでに実施している学校では、これまで講師に来ていただいている方がおられ、新たに市からの事業としての提供が難しいが、実施していない学校に対しては、校長会で紹介し、前向きな検討を行ってもらうこととし、必要な経費を予算要求していく。 ・生駒市茶道協会に打診したところ、「協会としても茶道の普及啓発は喫緊の課題であると認識しているが、1回のお点前体験で、茶道検定の等級は付けられない。毎月1回など定期的に茶道講座を実施するのであれば、講座終了後に認定証などを交付することは可能とも考える。」との回答があった。また、全国レベルで、茶道文化検定が既に実施されており、著作・著作権に抵触する可能性があり、同様なものを実施するには課題が大きいと考えられる。 ・生駒ふるさとミュージアムのホームページで実施している「いこま検定」の参加を促すとともに、茶釜や茶道に関する出題項目を増やすことで対応していくこととする。 				

事業名	【新規】生駒ふるさとミュージアム・図書館連携事業	担当課	生涯学習課	
現状・課題	現行のデジタルミュージアムは、市や生駒ふるさとミュージアムのホームページから閲覧できるが、スマートフォンでの動画配信ができないものがあり、十分な資料提供のサービスとは言えない。			
目的・意図	デジタルミュージアムの動画資料のスマートフォンでの受信を可能にすることによって、多くの市民に郷土の歴史、文化、郷土愛の醸成を進めることができる。			
事業の概要	上段：各年度の取組／下段：事業費			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンなど、情報機器の種類に関わらず、現在配信しているデジタルミュージアムの動画を閲覧できるようにシステム変更経費を勘案して検討する。 閲覧可能な歴史・文化に関する資料等のデジタル化したものを市民に情報提供していく。 デジタルミュージアムや生駒ふるさとミュージアムと図書館の連携を図るため、ホームページ上で双方向にリンクを張る。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資料・冊子等の閲覧可否の仕分け 	<ul style="list-style-type: none"> 生駒市の歴史・文化のデジタルミュージアムのシステム変更料 2,920千円 デジタルミュージアムシステムのメンテナンス費用 150千円 歴史資料等の閲覧可能なようなシステム変更料 資料の閲覧可否のための仕分け作業 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルミュージアムシステムのメンテナンス費用 150千円 資料の閲覧可否のための仕分け作業 	⇒
			3,070千円	150千円
教育委員会での協議結果	次年度から実施するため、予算要求していくこととするが、各分野の調査資料集録など、作成にあたっては、各人のご厚意とご協力のもと作成しているものであり、提供者の意向により、極力ホームページなどの情報媒体での資料提供は避けてほしいとの申出があるので、情報提供しても良い資料のみ公開していく。			